



第三回定例会

土地開発公社を設立

都市環境の秩序ある整備へ「定款」可決

墨田区議会は、昭和五十七年第三回定例会を九月二十一日から三十日まで十日間の会期で開きました。今回は、三派五名の議員が一般質問を行ったほか、区長提出議案十件を可決し、また、十五件の請願・陳情を議決しました。そして、昭和五十六年度墨田区一般会計歳入歳出決算他一件を特別委員会へ審査を付託し新教育委員の任命に同意しました。

今日定例会の初日、九月二十一日の本会議では、区議会の一部会派所属議員に異動があったことに伴う議席の変更を行ってから、自由民主党、公明党、日本共産党の三つの会派から三人の議員が出て、区政について一般質問をしました。その中で各議員からは「土地開発公社について」「錦糸町副都心再開発について」「総合福祉保健センターについて」などさまざまな観点から質問があり、区長からそれ



秋空の下でゲートボールを楽しむ人たち

それ答弁がありました。

二日目の二十二日には、前日に続いて自由民主党、日本共産党の二会派から二人の議員が一般質問を行い、「高齢化時代の対応について」「墨田まちづくり公社について」などを取り上げました。(二面参照)

次に、十件の議案が区長から提案され、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しましたがその中には、これまでの区条例の中に、障害者に対する思い

やりの足りなかった用語が一部使われていたため、例えば「不具障害者」を「重度心身障害者」というように適切な用語に改めるための議案が三件あります。

また、墨田区の環境整備を秩序よく行うため、土地を手に入れたり管理したりする「土地開発公社」の設立を目的とした議案や、南部の地域に増設するよう以前から強く要望されていた児童館を、本所二丁目建設するための契約議案などが含まれて

います。

また、みなさんから区議会あてに出された請願九件、陳情六件についても、その審査をそれぞれ所管の各常任委員会に付託しました。

この後、本会議は、二十三日から二十九日までの七日間休会に入り、この間に四つの常任委員会が次々に開会して、それぞれに付託された議案や請願・陳情などを審査しました。

定例会の最終日、三十日に開会した本会議では、十件の議案を委員会審査報告どおり可決し請願九件、陳情六件は、委員会閉じました。

白鬚東地区防災団地等の環境改善に関する請願など採択

請願・陳情の審査結果

今回の定例会でみなさんから提出された請願・陳情を審査した結果、請願九件、陳情六件について結論を出しました。

◎採択としたもの

◆国民健康保険療養給付費定率補助金の肩替わり反対に関する請願
(意見) 別途議長において、適宜な方法によって関係機関に働きかけられたい。

◆白鬚東地区防災団地等の環境改善に関する請願
○児童館の建設
○児童保育クラブの設置
(意見) 堤小学校内に児童保育クラブを設置することは困難と認めるが、団地内の児童館・児童保育クラブの設置については努力されたい。

○子供の遊び場確保
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

○中央分離帯の植樹
(意見) 当該樹種に限定せず緑化について努力されたい。

○京成バスの増便等
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

審査報告を起立表決の結果、賛成者多数で報告どおり決定しました。(別掲参照)

さらに、昭和五十六年度墨田区一般会計歳入歳出決算と、同じく国民健康保険特別会計歳入歳出決算は、二十名の委員で構成する決算特別委員会を設置して審査することにしました。(二面参照) また九月三十日で任期満了となった教育委員の後任委員の任命に対し、同意を求める議案が提案され、全会一致で同意しました。最後に区長からあいさつがあり、第三回定例会を閉じました。

○貸付け利息の引下げ
○無保証人化等
○提出書類の簡素化
○緊急を要する融資等
(理由) 公的融資の制度上、趣旨にそうことは困難である

◆国民健康保険料(税)値上げ反対等に関する請願
一 採択とした分
○国保制度の改善・充実
(意見) 別途議長において、適宜な方法によって関係機関に働きかけられたい。

二 不採択とした分
○国保料値上げ反対
○国保料減免基準額の引上げ
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

○住宅相談及び仕事の斡旋
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

二 不採択とした分
○都長期計画懇談会の「基本構想」に基づく住専地域変更反対
○住宅修繕資金制度の改善
○「土地白書」の作成及び土地利用計画の策定
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

○区管住宅建設
(理由) 現段階においては、趣旨にそうことは困難である。

◎一部採択・一部不採択としたもの
◆制度融資改善に関する請願
一 採択とした分
○黒小特貸付限度額引上げ等
○事業資金貸付限度額引上げ
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

二 不採択とした分
○福利厚生資金貸付限度額の引上げ
○生業資金貸付限度額の引上げ等
○返済期間の延長

◆堤通り(防災団地)の交通環境の改善に関する請願
一 採択とした分
○中央分離帯の植樹



白鬚東地区防災拠点前堤通り

(意見) 当該樹種に限定せず緑化について努力されたい。
○京成バスの増便等
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

二 不採択とした分
○巡回路の設置
(理由) 交通機能上から、趣旨にそうことは困難である。

◎不採択としたもの
◆公共工事の入札制度改善に関する請願
(理由) 公共工事の契約制度上、趣旨にそうことは困難である。

◆大幅減税要求・申告納税制度改悪反対に関する請願
(受理番号第15号)
(理由) 現在の財政事情及び現行税制等を考慮し、趣旨にそうことは困難である。

◆大幅減税要求・申告納税制度改悪反対に関する請願
(受理番号第16号)
(理由) 現在の財政事情及び現行税制等を考慮し、趣旨にそうことは困難である。

◆たばこ・塩事業の専売制度維持存続に関する陳情
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◆老人医療費無料制度の存続に関する陳情
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◆保育料値上げ反対等に関する陳情
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◎一部不採択としたもの
◆老人の医療費無料制度の継続に関する陳情
○老人医療費無料制度の継続
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◆高齢者対策及び老人医療費無料制度の推進に関する陳情
○老人医療費無料制度の継続
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

一般質問

事業用地の先行取得が急務

土地開発公社を設立—区長答弁

墨田区土地開発公社

設立の基本的考え方は

自由民主党

問 当区は、隅田川と荒川にはさまたげ、限られた地域の中に23万区民がいろいろな願望を持って生活している。こうした中で、区は、区民生活全般にわたる対策のため、昭和46年、民間資金の活用を図って財団法人墨田区土地開発公社を発足させ、用地取得し、区民の要望に応える施設を建設してきたことは高く評価できる。

この議会に「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づく、「墨田区土地開発公社」の設立議案が提出されているが、その基本的な考え方を伺いたい。

答 区の基本構想にうたわれて

隅田川のほとり

平井の渡し

立花一丁目の吾福神社の境内に、枯れて根元だけになった「くすの木」があります。

このくすの木は「日本書紀」に登場する「日本武尊（やまとたけるのみこと）」が食事に使った二本を土にさしたところ、それが根つき、一つの根から二本の幹となつて大きく育つたものだといふ伝説が残されています。

江戸時代、このくすの木の葉をせんで飲むと病気が直ると信じられ、鳥居に続く参道には人々がお札に納めた赤いのぼり

社会に貢献し、自らも生きがいを持つための事業や施策は、積極的に進めたい。

錦糸町の副都心化に

都有地再開発の促進を

公明党

ス等の諸要素により、わが国は世界でも屈指の長寿国になったが、区は、高齢者が健康で明るい家庭と生きがいのある生活を送れるよう、種々の施策を進めている。

一方、新聞報道では、各地で高齢者に関する悲報も相次ぎ、社会の断面を見せている。区長の考えを聞きたい。

また、わが国の家族のあり方が変化して、核家族になってきた。青少年非行を防ぎ、家庭にぬくもりを与え、高齢者の生きがいを創出するよう、家族の見直しを区のお知らせで呼びかける考えはないか。

答 高齢化時代には、健康で自立できる高齢者が一人でも多くなること、高齢者自身や社会また、行政にとっても重要だ。今後、高齢者が仕事を通じ

が広く、川岸には草なども生えていました。

平井の渡しは、そんな風景の中を、江戸と佐倉方面を行き来する人々や、当時、江戸三大聖天の一つとして有名だった「平井聖天」に参拝していた人々の人々に利用されていた渡し船の始まりは、はつきりしません。

江戸時代に書かれた古い本「葛西誌」には、田中川対岸の「下平井村」のようすを「渡し船が佐倉道にあって、中川を渡し船はすべり、長い間多くの人々に親しまれ、利用されてきた平井の渡し」と書かれて



平井の渡し 江戸名所図絵から(部分)

第三回定例会 会議開会状況

第3回定例会中に開いた会議はつぎのとおりです。

Table with 2 columns: Date and Meeting Name. Dates range from 21st to 30th. Meetings include Commission Meetings, Council Meetings, and various committees.

老人医療費有料化に 反対せよ

日本共産党

問 国・都が老人医療費有料化を導入しようとしているが、老人の医療を守る上から反対せよ。また、老人福祉拡充のため「総合福祉保健センター」の建設は

問 不燃化助成事業をさらに推進するため、両国、錦糸町地区に続き、文花地区や路線地区にも、国、都の制度導入を強力に働きかけるべきだ。また、防災区画化計画と防災活動拠点との関係及び周辺住民の防災意識づ

問 国・都が老人医療費有料化を導入しようとしているが、老人の医療を守る上から反対せよ。また、老人福祉拡充のため「総合福祉保健センター」の建設は

五十六年度各会計決算

特別委員会で審査

今定例会の最終日、九月三十日の本会議に、四百四十億円の昭和五十六年度墨田区一般会計歳入歳出決算と、百三億円の昭和五十六年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算が、区長から提出されました。

昭和五十六年度が、基本構想元年ともいべき年だったことから、この年の予算は区政の長

あひま

今年の夏は台風の当り年中でも18号は都内の中小河川をはん濫させるなど、大きな被害を出しました。

幸い墨田区内では、ほとんど被害もなくすみました。たが、山の手地区の水害の様子を見て、かつての区内の状況を思い起された方も多かったことでしょう。

今年から区議会だよりの発行日を21日にしました。区議会事務局 調査係 ☎03-131-51 内線247

決算特別委員会委員名簿

- 委員長 〇副委員長 瀧澤 良仁 〇並木 保雄 松野 弘子 西原 文隆 加藤 信雄 佐藤 四郎 中村 光雄 牛山れい子 西 恭三郎 原田 裕 大和久常雄 石橋 正夫 早川 幸一 柴田 昌男 原 正義 湯本 令二 樋口 丈吉 島村 福蔵 青山 政雄 森下三七人